2015年ネパール・ゴルカ地震による被害と 復興の現状

応用地質株式会社 プラダン オム

2017年6月



内容

- ・ネパール国の簡単な紹介
- 2015年のゴルカ地震の概要
- 歴史的な建造物の紹介・被害状況の報告
- 建物被害
- ・ 地震による斜面倒壊
- 復興状況
- ・まとめ

ネパール:紹介



ネパール・ゴルカ地震

1:56 火) 12:50 西、ゴルカ群

本震: 2015年4月25日(土) 11:56

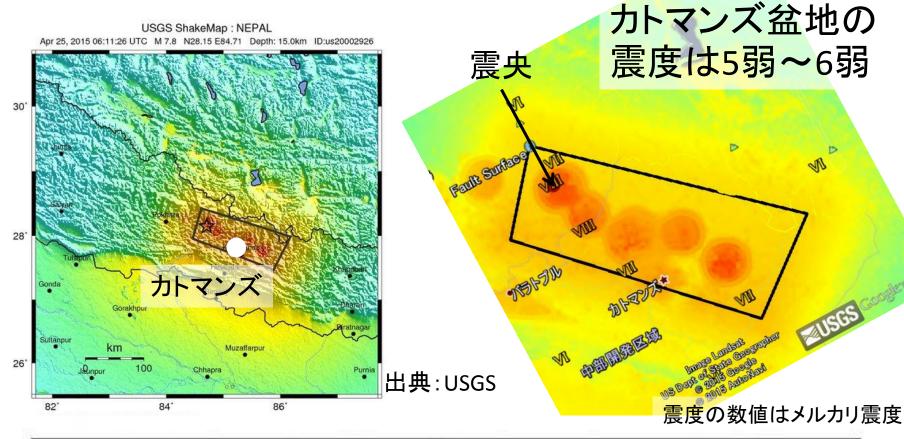
最大余震: 2015年5月12日(火) 12:50

Epicenter 震央	首都カトマンズから約80北西、ゴルカ群
マグニ チュード	本震: Mw 7.8 · 最大余震: Mw 7.3 (USGS)
震度	カトマンズでは VII
被害の概要	死者: 約8,900(2015年6月9日)、負傷:約2.3万人 建物の被害: 倒壊:約50万件、損傷:約26万件 レンガ/石造りの建物被害が多い、 RC構造物の被害が少ない 歴史的な建物の被害:レンガ/石造りが多く被害 斜面倒壊:小規模な斜面崩れが多い



Mw7.3

ネパール・ゴルカ地震

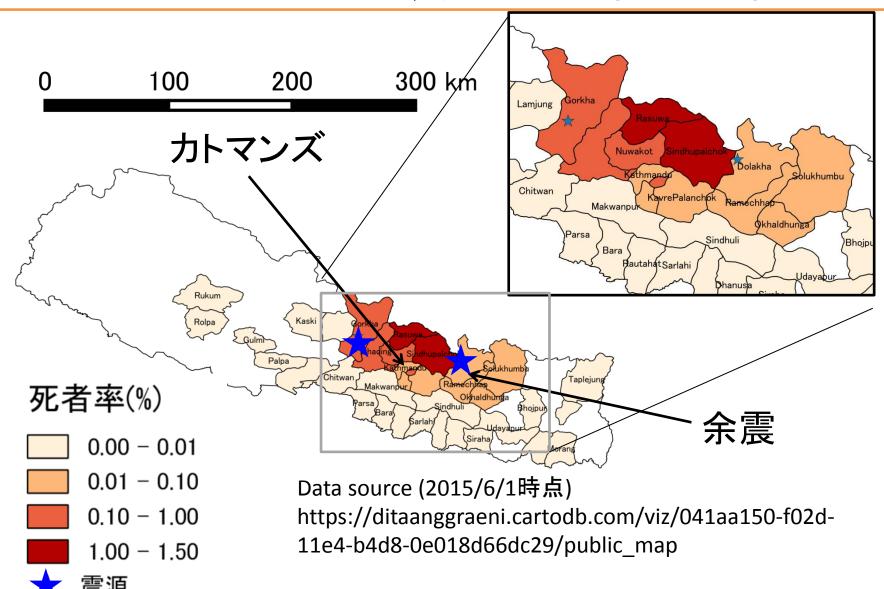


N

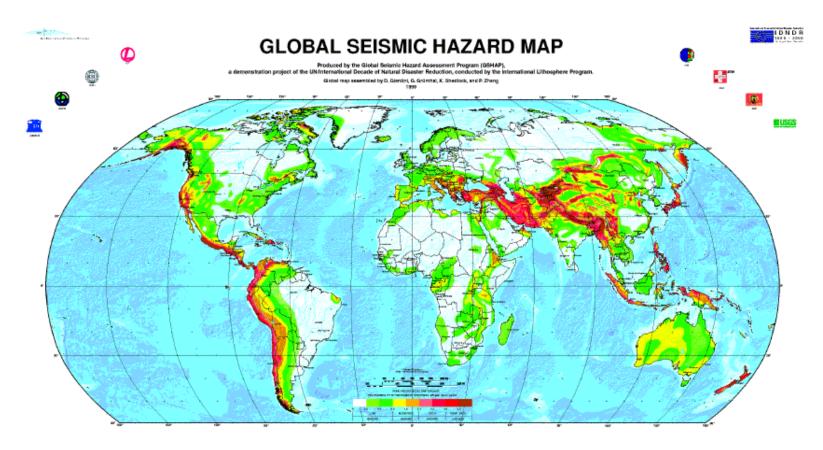
PERCEIVED SHAKING	Not felt	Weak	Light	Moderate	Strong	Very strong	Severe	Violent	Extreme
POTENTIAL DAMAGE	none	none	none	Very light	Light	Moderate	Mod./Heavy	Heavy	Very Heavy
PEAK ACC.(%g)	<0.05	0.3	2.8	6.2	12	22	40	75	>139
PEAK VEL.(cm/s)	<0.02	0.1	1.4	4.7	9.6	20	41	86	>178
INSTRUMENTAL INTENSITY	-1	11-111	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X +

Scale based upon Worden et al. (2012)

ネパール・ゴルカ地震による死者率分布



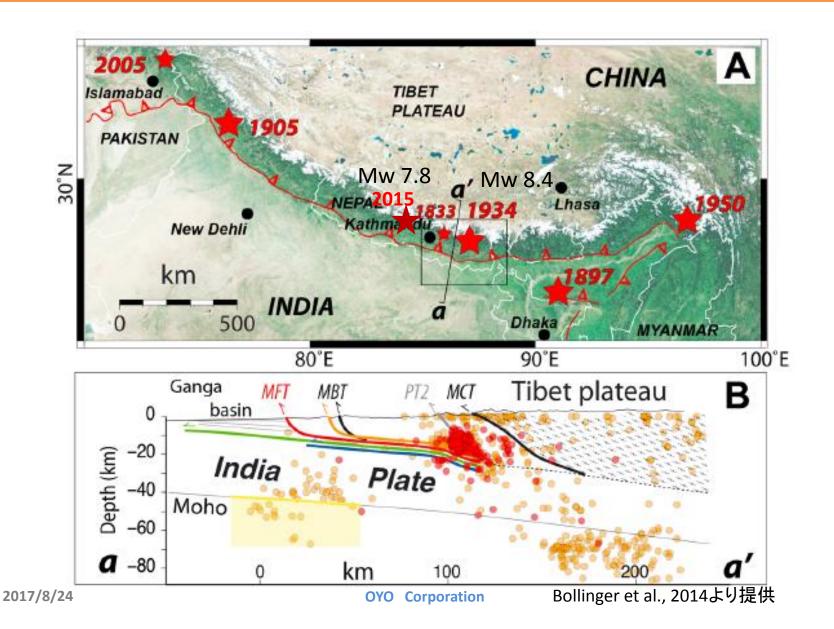
なぜネパールで地震起きたか?



ゴルーバル地震ハザード図

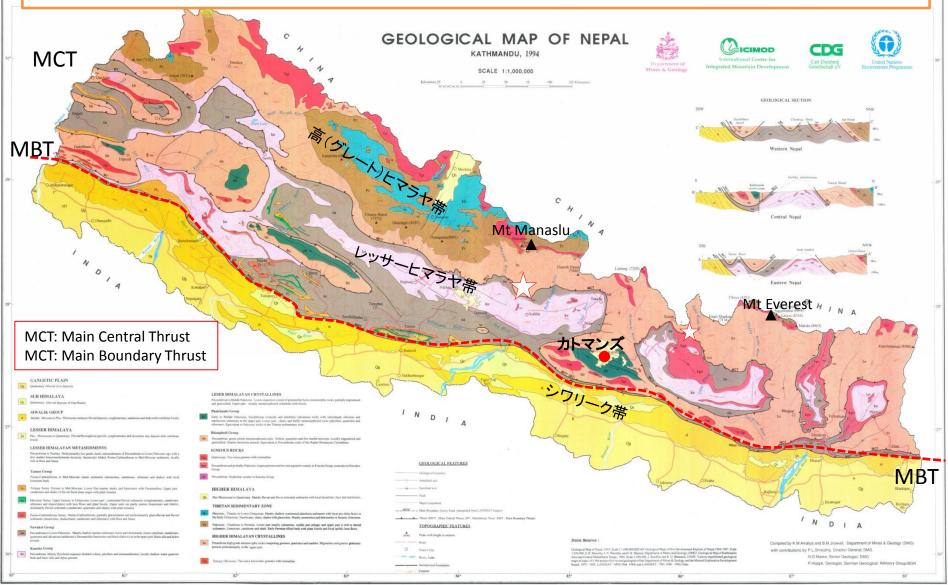
Source: http://static.seismo.ethz.ch/GSHAP/global/

ネパール・ゴルカ地震



8

ネパール地質帯区分



AUTO CARTO CONSILT in 1996, Jamesey

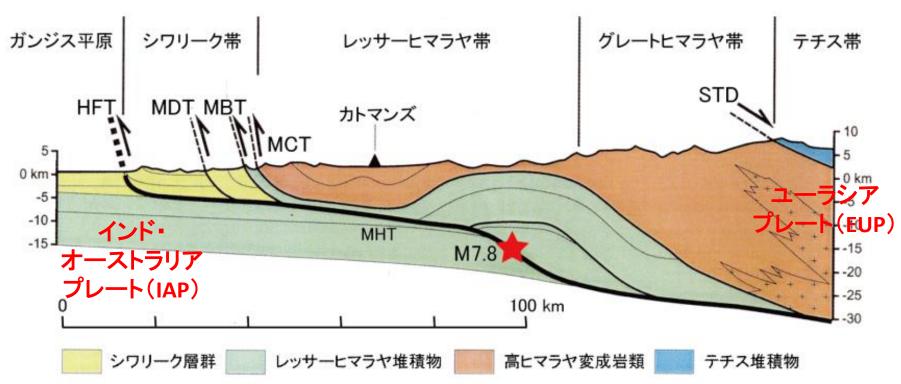
Distributor

M TRADES CENTRE MAPS OF REPRA

See Harmanoo, Tel: 4740394

ネパール地質





HFT: ヒマラヤ前縁断層 MDT: 主ドゥン断層 MBT: 主境界断層 MCT: 主中央断層 STD: 南チベットデタッチメント MHT: 主ヒマラヤ断層 ★: 2015 年4月 25 日に発生したネパール地震の震源

図2.カトマンズを南北に横断する地質断面図に投影した, M 7.8の地震の震源、(Pandey et al., 1999を改変)

被害調査

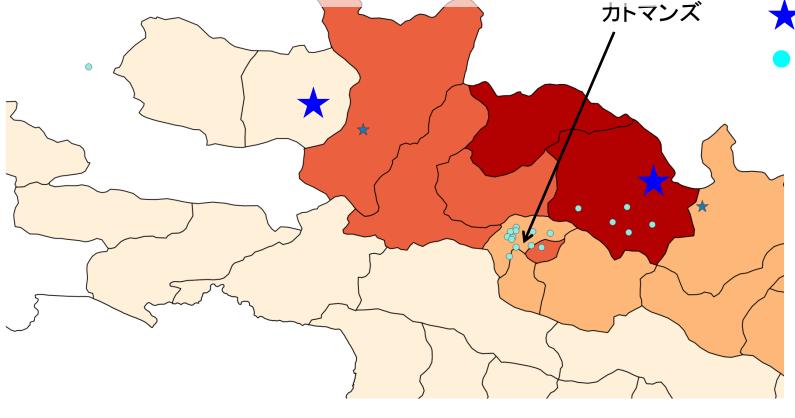
第1回調査期間: 平成27年7月12日-7月22日 調査員: 早川、プラダン、長谷川の3名 調査目的: 斜面崩壊・建物被害 死者率(%)

0.01 - 0.10 0.10 - 1.00

1.00 - 1.50

★震源

● 調査場所



100 200 km

第1回 調査スケジュール

日程	行動予定	内容	宿泊地
2015/7/12	日本発	移動、バンコク又は香港等経由	経由地
	カトマンズ着	調査準備・打合せ等	カトマンズ
7/13	カトマンズ市内	Kathmandu調査、Dolalghat移動	Dolalghat
7/14	Barabise, Jalbire	Barabise視察(中腹斜面) Jalbire視察 (中腹斜面)	Dolalghat
7/15	Melamchi, Chautara	Chautara視察(中腹斜面)・Melamchi視察 (道路沿い)・カトマンズ移動	カトマンズ
7/16	Kathmandu	Kathmandu調査	カトマンズ
7/17	Pokhara • Gorkha	Pokhara 移動	Pokhara
7/18	Pokhara→Kaligandaki J I	Kaligandaki斜面崩壊調査 Armala Sinkhole調査	Pokhara
7/19	Pokhara • Armala	Sinkhole視察・打合せ・カトマンズ移動	カトマンズ
7/20	カトマンズ発		

カトマンズ盆地一歴史的な健造物

スワヤンブナート



カトマンズ ダルバール広場



バクタプル ダルバール広場



UNESCO 世界遺産



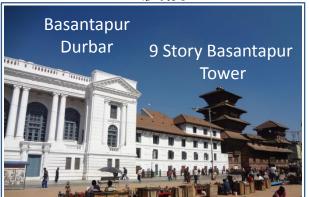




ダッタトラヤ寺院

カトマンズ盆地一歴史的な健物の被害

地震前





地震3か月後(7月)

地震半年後(11月)









カトマンズ ダルバール広場

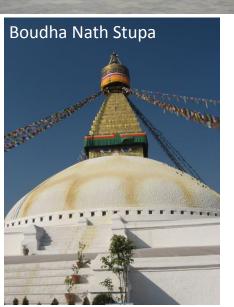
カトマンズ盆地一歴史的な健物の被害

地震前



地震半年後(11月)











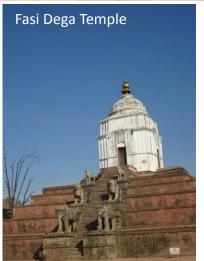


カトマンズ盆地一歴史的な健造物の被害





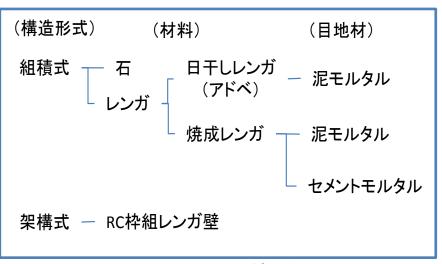
地震前





バクタプル ダルバール広場

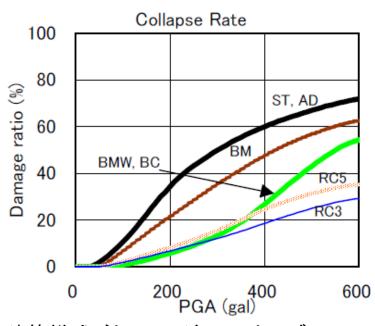
建造物の被害



ネパールの建築様式



アドベ造倒壊例



建築様式ごとのフラジリティカーブ (JICA, 2002)

BM(レンガ(泥モルタル)), B 日干しレンガ MW(レンガ(泥モルタル良好)), BC(レンガ(セメントモルタル)), RC5(5階建以上のRC造), RC3(3階建以下のRC造

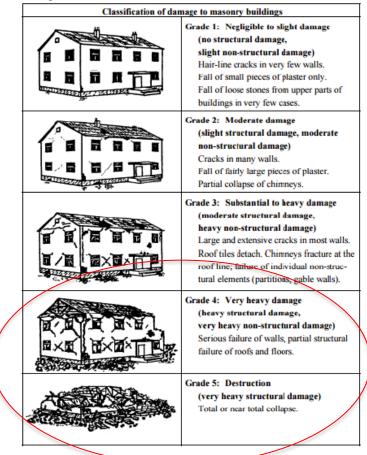
ST(石), AD(アドベ),

OYO Corporation

建造物の被害

Classification of damage

Note: the way in which a building deforms under earthquake loading depends on the building type. As a broad categorisation one can group together types of masonry buildings as well as buildings of reinforced concrete.



European microseismic Scale, 1998より提供

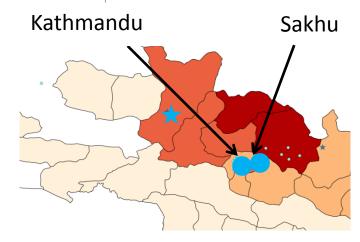
建造物の被害

- ・ レンガ造り建物の被害
- ・ 石積建物の被害
- RCコンクリート建物の被害

レンガ造り建物の被害









サク(Sakhu)の映像 OYO Corporation

レンガ造り建物の被害









石積建物の被害:メラムチ



Melamchi

Kathmandu

RCコンクリート建物の被害









RCコンクリート建物の被害





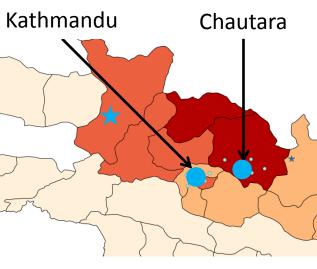




斜面にある建物の被害









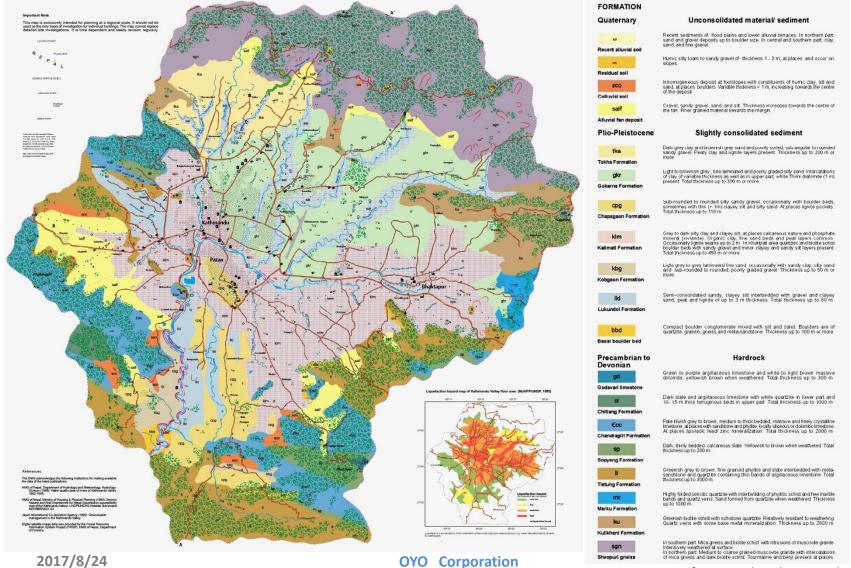




RC建物(柱と梁はRC,壁はレンガ; Chautara)

カトマンズ盆地 地質

盆地充填堆積物 (Basin fill Sediment)



カトマンズ盆地 地質









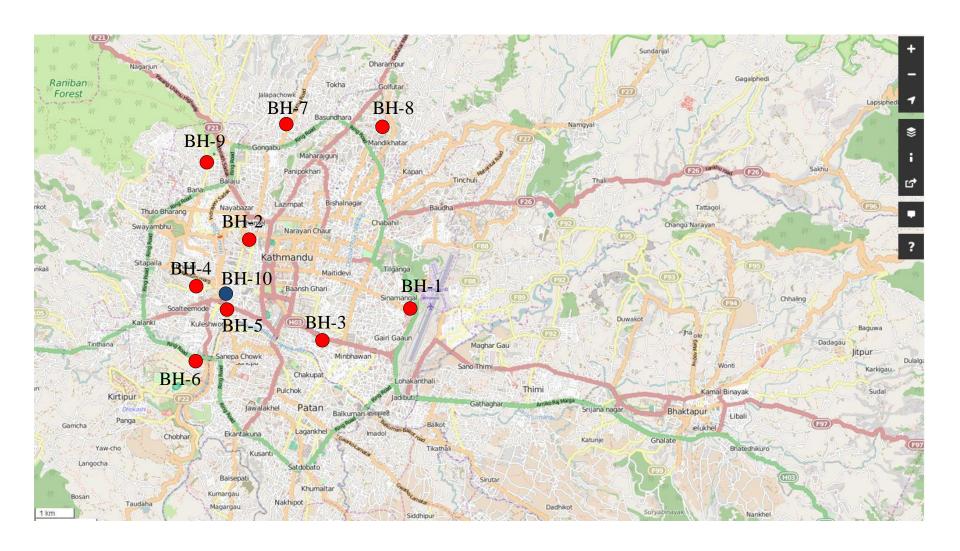
記図の近接写真(各種ラミナの発達が著しく 浅い湖域での著しい流向変化を示唆する)

カトマンズ盆地 地質

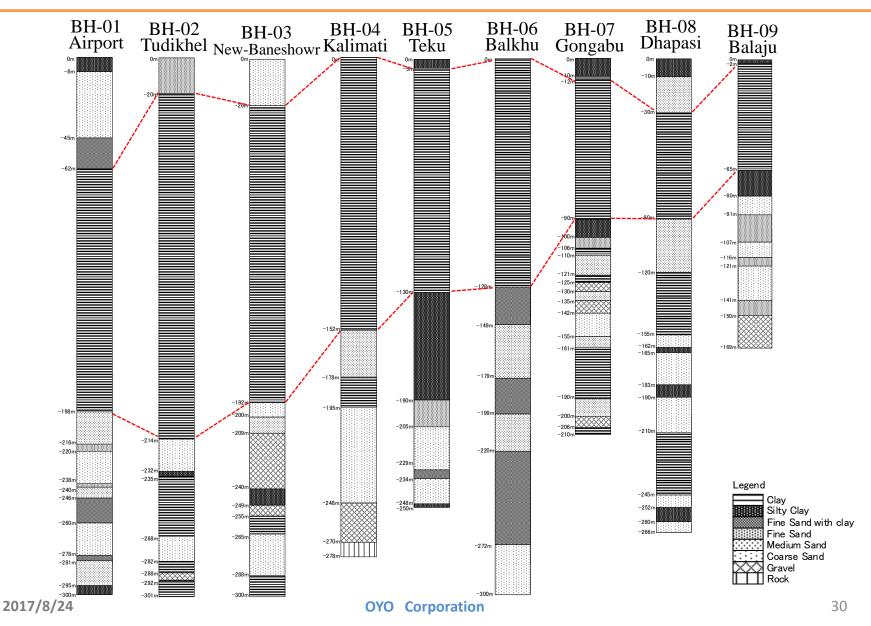




カトマンズ盆地 地質一ボーリングホール位置

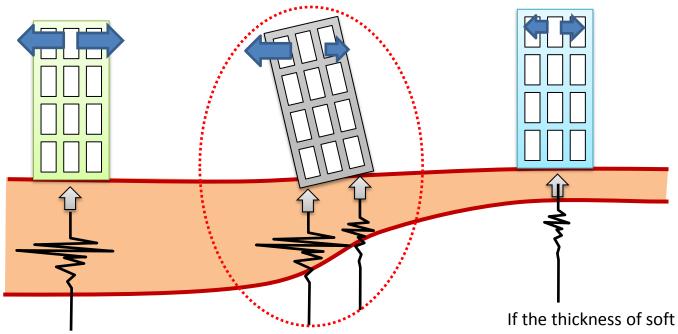


カトマンズ盆地地質ーボーリングデータ



地質構造と建物の被害

カトマンズの北西部の地域での RCビルの被害が多かった理由と考えられる



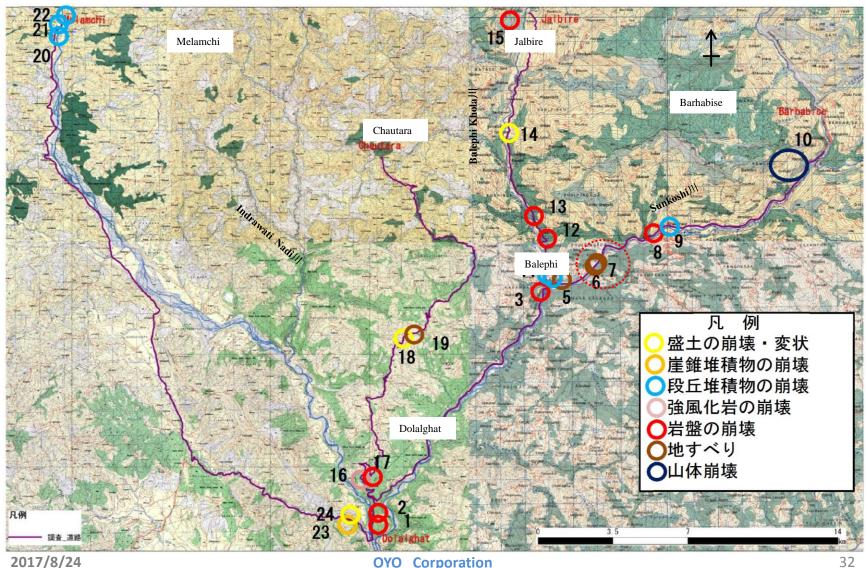
If the shallow soft layer would be thick, the ground motion would be amplified and the amplified strong ground motion would incident to buildings on the ground.

When the natural period of building and predominant period of ground motion is same, serious damage to the building occurs.

Due to the influence of the inclination of geological structure, ground motion is incident to a building at an angle. This effect is same in slope area.

If the thickness of soft layer is thin, ground motion does not become strong.

地震による斜面崩壊



斜面崩壊

崩壊パターンの分類

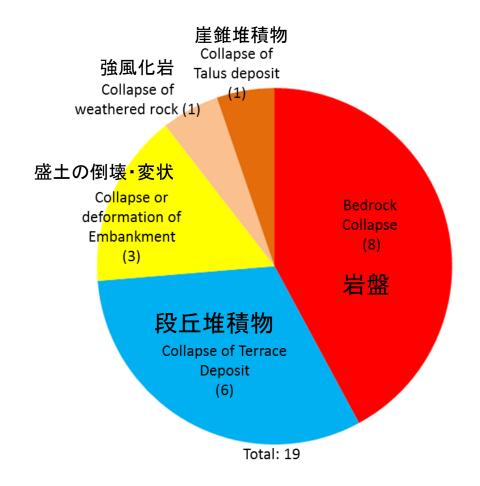
規模	移動速度	分類
小	大	盛土の崩壊・変状
		崖錐堆積物の崩壊
		段丘堆積物の崩壊
		強風化岩の崩壊
		岩盤の崩壊
大	/]\	地すべり
大	大	深層崩壊

Lesser Himalayan meta-sedimentary rock レッサーヒマラヤ・メタ堆積岩類 (脆弱な地質)

斜面崩壊が多い

斜面崩壊

地震に確認した崩壊パターンの割合: Araniko道路沿い



小規模な斜面崩壊







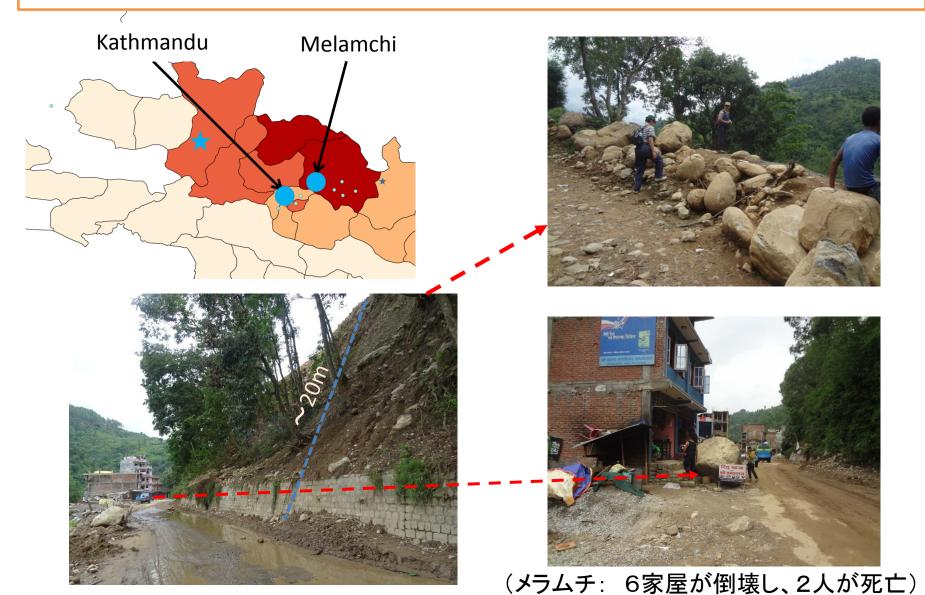


小規模な斜面崩壊



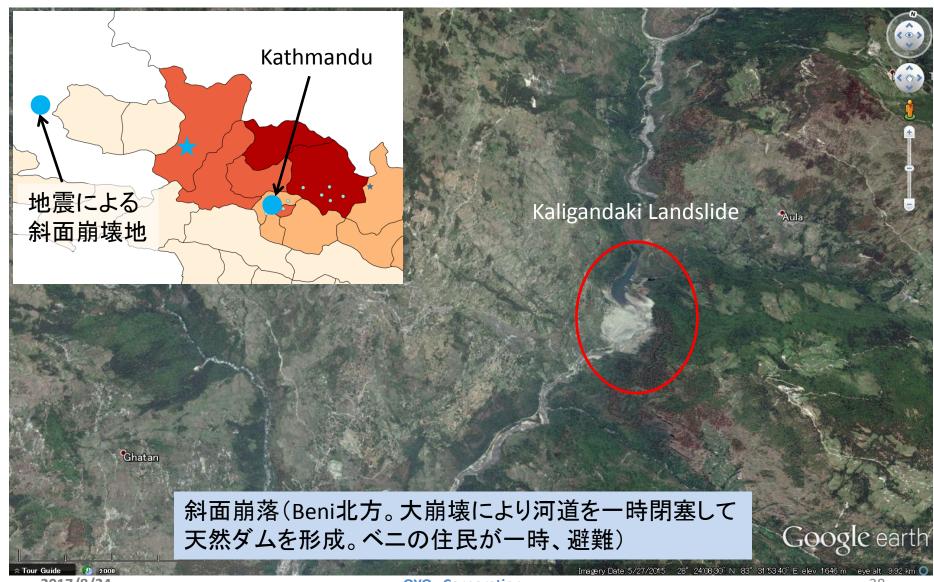
Araniko道路沿い

小規模な斜面崩壊: 段丘堆積物の崩壊

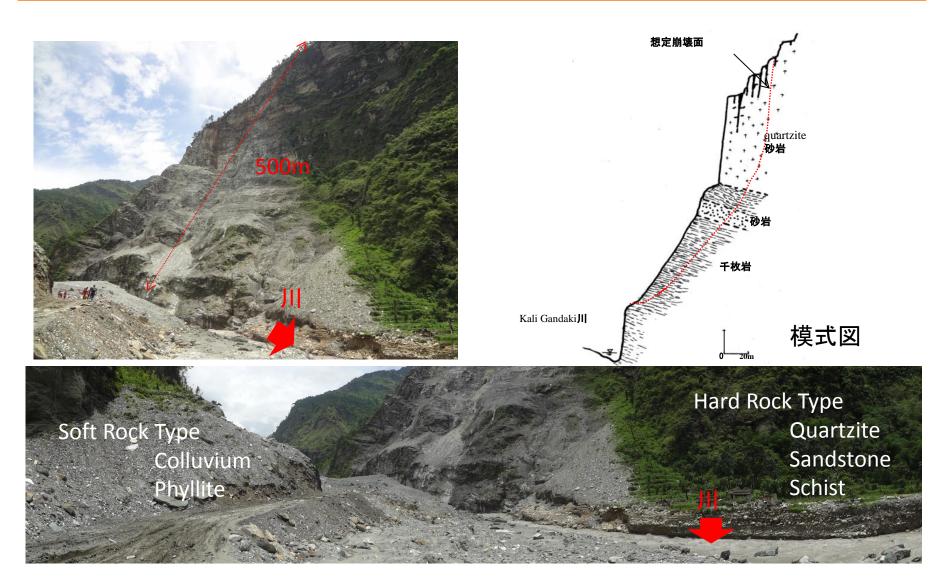


OYO Corporation 37

大規模な斜面崩壊



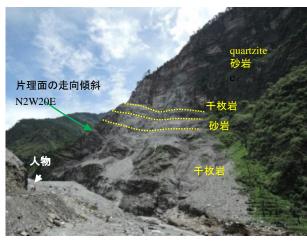
大規模な斜面崩壊



大規模な斜面崩壊









- 地震後の緊急対応:
- 優先順:仮設住宅、食料、衣料、薬物など
- ・ 地震被害のデータ収集
- 国際ドナーズ会議:2015年6月15日にカトマンズで開催した
- ・ ネパール復興局の設置:復興状況は非常に遅れている
- NGO/INGO, 一般市民の参加







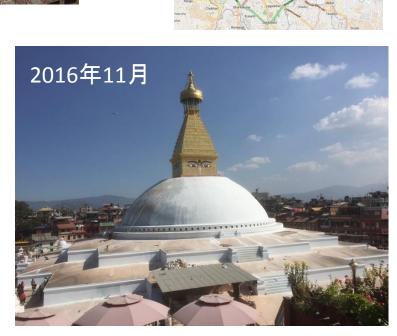
復興状況:ボッダナート

2015年7月







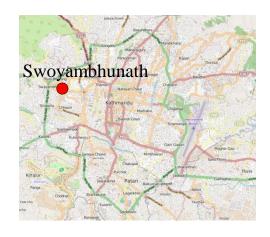


Bodhhanath

復興状況:スワヤンブナート











2015年11月



まとめ

• 地震被害

- → 石積、レンガ(日干しレンガ)健造物→被害が多い。
- ▶ レンガ・RC建造物の被害が比較的すくない。特に新しく建てられた建造物に被害が少ない
- ▶ 山の尾根でRC建造物の被害が多い→被害が多い
- ▶ カトマンズでは、歴史的な古い建造物の被害が多い
- ▶ 構造がよわい健物へ被害が多い→Structural Failure
- 脆弱な地質の山地では小規模な斜面崩壊が数多く発生した
- 被害パターンと地質の連携が必要である

• 復興

- ▶ カトマンズは地震発生3か月を経ったところ、一部の地域では普通の生活を取り戻していた。6か月後は観光スポットなどの営業が開催していた
- ▶ 地震被害が多かった地域でも個人商店の再開は早い
- ▶ 地震発生2年が経過していたが、復興が遅れている

Thank you very much for your attention

